

金淵(工大)、岡本(光星)ら注目



岡本琉奨

プロ野球のドラフト会議で、青森県関係では高校生と大学生計10人がプロ志望届を提出している。岡本は東京都出身で、計31奪三振をマーク。今春には18歳以下日本代表候補選手の強化合宿に参加した。

高校生は工大一の金淵最速148キロの直球が武器。光希投手、八学光星の岡本琉奨投手、弘学聖愛の吹田志道投手の計3人。金淵は六戸町立七百中出身の本格派左腕。今夏の青森大会では準決勝で涙をのんだが、4試合で

回戦の関東第一（東京）戦では、延長タイブレークで2回無安打ピッチングを披露し、チームに勝

青森県関係、10人プロ志望届

吹田は大鰐町出身の長身右腕。伸びのある速球が魅力で、今夏の青森大会では主戦として活躍した。

大学生では、八学大の加藤響投手と平尾柊翔外野手、青森大の所崎新投手（七戸町出身）、創価大の中澤英明捕手（八学光星高出）、中部学院大の田中恵亮外野手（八学光星高出）、青中大の大内弘也投手、東北福祉大の大橋匠吾内野手（八学光星高出）が志望届を出している。

所崎は青森山田中一青森山田高。高校時代は主将で、コロナ禍の2020年に甲子園などの大会が中止となった際、県内の夏季代替大会で優勝した。（千葉達也）